

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の 母



昭和十七年
十一月

こなり組

隣り組といふものは、時局以來の最もいゝ生活の一つです。御近所に住んでゐながらも、お互同志何んの協同もなく、知りあひさへないといふことは、人間生活として餘りにも殺風景以外、奇怪極まることです。隣り組はそれを人間の世の中らしいものにした上に、それから起る生活上の利益も大きいものです。わけても、子どもの生活にとつて、近所といふものが與へられたこと、その結果、護られることにも、教へられることにも、誠に都合のいゝ便宜が多く與へられるやうになりました。

これは住んである地域によつての隣り組です。その精神を採り入れて、幼稚園でも、同じ組の子ともいふことを縁にした隣り組があつてよさそうです。子ども達は、しつかりお互同志の生活を毎日楽しんでゐるのです。その親同志も、お互同志の結びつきがある方が自然でもありませう。たと自然ばかりでなく、子どもを中心として話しあひ、或は何彼と助けあふこと、いろ／＼と楽しさもあり利益もあることでせう。幼稚園を信頼し、先生を信頼し、それを中心として互にいつしよになつてはゐるものゝ、我子の友達の親を、互に頼と知らないといふのは、考へてみれば變なことでないでせうか。子ども同志あんなに親しいのに。

幼稚園から

○厚着警戒の警報を出すことの必要な時が來ました。或はもう手遅れかも知れませんが、少くも此の月にやり損つたらば、一寸やり直しがむづかしいでせう。充分よく氣をつけて下さい。

○注意は大切ですが、けさは冷いとはかり、着物を重ねてゆくだけなら、責任よけの注意に過ぎません。そこをもう一つ寒さに勝たせる注意こそ、責任を以てする注意です。それは我子に就て一番の責任をもつ、お母さんだけに出来ることで、お母さんのしなければならぬ積極的注意といふものです。

○それにしても、十一月小春日和だといふのに、ぽて／＼と厚い重ね着で、うん／＼いはされてゐる子の、何んと多いことでせう。日あたりのいゝ庭へ遊びによこしながら、この位注意の足りない、母の無責任がありませうか。